

令和6年度第2回名取市男女共同参画推進委員会 会議録

1 日 時 令和6年9月3日(火) 13:30～15:00

2 場 所 市役所6階 第3会議室

3 出席者

(委 員) 寒河江和樹委員長、相原直之委員、岩沼裕子委員、佐藤莉委員
小野寿昭委員、菊地成裕委員、星真奈美委員、村上寛子委員

(欠席委員) 久米智美副委員長、入間川徹委員

(事務局) 浅野次長兼課長、佐藤課長補佐兼係長、清野主査

4 会議内容 別紙のとおり。次第に沿って、要点記録により作成する。

第2回名取市男女共同参画推進委員会

1 開 会 司会進行：佐藤課長補佐兼係長

2 委員長あいさつ 寒河江委員長

3 議 題

協議事項

(1) 男女共同参画情報紙「ハンド・イン・ハンド21+第22号」(案)について

【資料1】の内容について、事務局から各記事の説明を行い、委員が協議を行った。
協議内容について、下記のとおり。

委 員：1ページ目下部、各種バイアスに関する項目について、並べて整理して記載する方が見やすい。

委 員：1ページ目上部の記事について、“現在の課題”から“その課題に対し、このようにしていくべきである”というような文章の構成にすると読みやすい。

2ページの各種チェック項目については、“チェックが〇個以上だと、こういうことに気をつけると良い”のような、チェックに対応する答えのような欄があると、記事を読んでチェック作業をした人もすっきりすると思う。

また、『こどもの問題の中にもある、アンコンシャス・バイアス』の記事からチェック項目につなげて、“チェックがつくことで、こういった問題の加害者にも被害者にもなりうるよね”という内容とすることもできるのではないか。

委 員：2ページ目のチェック項目が多く、難しいと感じる。子どもと読む記事であれば、言葉の表現を易しくし、チェック項目もより子どもがわかりやすいものにしてはどうか。

委 員：子ども向けとしてはいるが、記事の冒頭に『小学校高学年～どなたでも読んでいただける内容となっています。』と記載している。大人も対象に含むため、大人に対応するチェック項目も残して良いのではないかと思う。

事務局：記事案について、“削除しても良い部分”を挙げていただくと、今後の作業の参考になる。現段階が最も記事分量が多い状態となっており、ここから見やすく整理を行っていく予定である。

委員：2ページ目下の『こどもの問題の中にもある、アンコンシャス・バイアス』の記事については、相談窓口情報もあわせて記載すると良い。スペースがないなら、ウェブサイトにつなぐかたちでも良いと思う。

事務局：相談窓口情報も二次元コードで記載する。

事務局：3ページ目のインタビュー記事について、地域のロールモデルとして“女性活躍や起業に関する活動を行っているNPO代表の女性（村上委員）”と“家事や介護を生活の中心としている専業主夫の男性（菊地委員）”のお話を記載したいと考えている。差し支えないか。
⇒村上委員、菊地委員の了承を得た。

委員長：文章量や表現について、3ページ目下部のまとめ文についてはどうか。委員からの意見を伺いたい。

委員：パッと見た時、文章が多く、子どもには難しいのではないか。

委員：小学校高学年の子どもが読むことを考えると、もっと易しい内容の方が良い。

委員：家族で読むことが前提かもしれないが、子どもが一人でも読めるよう、もっと簡単にしても良いと考える。

委員：文章が多く、読むのに時間がかかる。絵や図をたくさん入れた方がわかりやすいと思う。また、事務局への依頼だが、会議資料はなるべく事前送付するようお願いしたい。

事務局：会議資料について、次回以降、可能な限り事前送付で対応させていただく。

委員：記事が白黒で漢字が多い。記事のビジュアルと言葉の表現を易しくしてほしい。

委員：インタビュー記事は、最後に持ってくる方が良い。まとめ文まで一気に読んで、最後

に実際の事例としてインタビュー記事を掲載するのはどうか。

事務局：この記事は広報紙に掲載するため、2色刷り、見開きでの掲載を予定している。ページの並びなども見直し、委員からいただいた意見を反映したい。

委員長：記事の構成案として、前半は考え方、後半は実例などとするとうわかりやすくなるかもしれない。

委員：2ページ目のチェック項目に戻るが、チェック項目に対応する答えを記載するのが難しい場合、現状の関連データを付記する方法もある。

委員：2つの意見がある。ひとつ目は、子どもが読むには難しいのではないか。記事の内容を半分にし、大きい文字で漢字にルビを振り、見やすくすべき。

ふたつ目は、アンコンシャス・バイアスがメインなのか、名取市の取り組みがメインなのか、テーマを絞ることの提案である。どちらかに絞って記事を作るのはどうか。

また、2ページ目下部の『こどもの問題の中にもある、アンコンシャス・バイアス』の記事について、内容を盛り込みすぎてテーマがぼやけないか心配している。

事務局：今回の記事案については、第1回委員会で協議し、選定されたテーマに沿って作成している。内容が多いということであれば、テーマから外れない範囲で、簡単な内容になるよう調整を加えたい。

委員長：子ども向けということなので、事務局には文章の量や言葉の表現に関する部分の調整をお願いしたい。

委員：私は、どの記事も削除するべきではないと考える。親子や家族で読めば、特に難しすぎるということもなく、対象とする読み手を子どもに絞る必要はあまりないのではないか。

委員：“大人向け”“子ども向け”として表記し、内容を分けるという手段もあるし、イラストが入ってくると、また印象が変わるかもしれない。

事務局：いただいた意見を反映し、見やすい紙面を再度作成する。

委員長：ここまでの各委員からの意見を受け、今後、事務局が記事の修正案を作成すること

となるが、広報誌掲載までのスケジュールを鑑みて、修正案の確認は委員長一任とさせていただいて構わないか。

委員：（委員全員）異議なし。

委員長：修正した情報紙の確認については、委員長一任ということで決定した。

事務局の説明にあったとおり、情報紙は市広報紙12月号もしくは1月号に掲載し、2色刷りで4ページとする。以上で、協議事項1に係る協議を終了する。

4 その他

（1）男女共同参画に関連する予算について【資料 2-1】【資料 2-2】

- ・令和4年度の決算内容をもとに、事務局から説明を行った。
- ・委員からの質疑等なし。

（2）男女共同参画推進委員へのアンケートについて【資料3】

- ・令和6年度に仙台市と栗原市が同性パートナーシップ制度を導入することに関連し、名取市男女共同参画推進委員へアンケート調査を実施した。制度の導入を検討するものではなく、委員の個人的な意見を匿名で伺う内容であった。
- ・回答者 8名（欠席委員2名を含まない）
- ・回答結果は、後日メールや郵送等、各委員が希望する方法で送ることとなった。
- ・アンケートに関連し、委員の所属団体や地域で当事者に対する配慮の事例等があれば共有してほしい旨を事務局から依頼し、下記の意見があった。

委員長：トイレなどの施設利用や性別欄等について、身近な事例があれば共有してほしい。

委員：比較的規模の大きいグループ会社に勤めていたが、20 年程前、気になる事例があった。中性的な雰囲気の中身女性の職員がいたが、その職員と大変仲の良い女性職員がおり、常に共に行動していた。その2人に対し、職場が関係性を聴取したことがあった。恋愛関係ではなかったようだし、本人は気にしていないように振る舞っていたが、当時は、やはり一般的ではなく、会社で問題視するような風潮だった。たった 20 年ほどで、大きく変わってきている。

委員：時代とともに、意識が大きく変化してきていると感じている。保育現場でも、『男の子はブルー、女の子はピンク』というような雰囲気ではなく、子どもたちもそれぞれ紫、黄色、ピンク、水色…好きな色を選んでおり、それが全くおかしいこととして扱われない。性別に関する意識は、だいぶ自由になってきている。

(3) 第3回名取市男女共同参画推進委員会の開催日程について

- ・次回の会議開催について、令和7年1月23日(木)午後を予定している旨を事務局から説明。委員からの異議はなし。

5 閉 会

以 上